

而稟繼其跡、或雖爲異姓他人、身成猶子而相傳所帶者、貴賤之通規、世上之常法也。今古之例、不皇○
恐○追言舉、況不可尋例於他家、當職之先祖行職者、遷三善氏、而安元二年八月日、還本姓、磯部畢、又任
官之後、改姓之輩、遠則少內記藤原重真、保安五年正月日改惟宗、右兵衛尉中原安賴、永萬二年三月
日改平姓、少判事坂上明基、承安三年八月日改中原、近則少內記久廣、弘安十年十二月、左衛門拜任
之時、爲安部、正應四年十月日、任右少史之時、爲三善等是也。自餘例不能罷繼、且信貞爲行種猶子、改
姓之例、令言上事由之處、改姓事被聞、食畢、北面奉公、不可有子細之由、被下院宣畢、○下

〔薩戒記〕應永卅二年正月廿九日庚子、除目中夜也、○中申文曰、○註

從七位上藤井宿禰春英

望伊豫目

右者年給以神國盛申任國目、而稱非本望不赴任、仍以件春英可被改任之狀、所請如件、

應永卅二年正月廿八日、參議從三位行左近衛權中將兼出雲權守藤原定一

今度依有所存、以藤原申目、執筆如案改藤井宿禰給、此事有口傳、以藤原改藤井、以源改原、以橘改立花、以平改平群者例也、然而以四姓申目文非難書、仍改之任也者、故實也、凡以賤身望高官者爲難書、以貴望下官者非難書云々、仍予猶申之了、不知故實之人難之歟、又無故實、執筆以藤原任目、是不可然也、爲知執筆才、或如此文書之例也、

〔古老子實傳〕一神宮法、不知姓職掌號秦氏例也、其儀相叶本記、○又見

〔古史徵一夏〕古老子實傳、永正記などに、神宮法不知姓職掌號秦氏例也、其儀相叶本記と見えた
り、此事餘の重き書にも有しと覺ゆるを、今頓に其書を思ひ出す、然れど今も此例なりと聞ゆ
れば、いと正しき説なり、其儀相叶本記といへるは、大同本記なるべく所思ゆれど、今傳はらざ
れば、其本文は知べき由なし、されど異國より投化参れる人をば、神宮に奉らるゝ例にて、此は